

ITU-R SG7 WP7B 会合(2025年3月)

報告書(案)

1. 会合の名称

ITU R Study Group 7(SG7) Working Party 7B (WP7B)
(宇宙研究、宇宙運用及び気象衛星等の宇宙無線システムに関する作業部会)

2. 開催日程

2025年3月17日(月)～3月26日(水)

3. 開催場所

スイス連邦(ジュネーブ)ITU 本部及びリモート会議

4. 会合の位置づけ、参加者及び入力文書

WP7B は、科学業務を扱う第 7 研究委員会(SG 7)の作業部会であり、宇宙研究(SRS)、宇宙運用(SOS)、気象衛星(MetSat)等の宇宙無線システムを扱っている。

WP7B は、Catherine SHAM 氏(米国)が議長¹を務め、今会合においては、表 1 に示す Working Group(WG)が設置された。また、今会合で 2 名の副議長(Ted Ber-
man 氏(米国)及び Kevin Knights 氏(オーストラリア)が任命された。

今回合は、40 か国の主管庁、3 の ROA*や他団体及び ITU 事務局から合計 311 名
が出席した。日本からは、表 2 に示す14 名が出席した。

本会合においては、52件の入力文書について審議が行われ、計 22 件の出力文書が作
成された。

表 3 に入力文書一覧を、表 4 に出力文書一覧を示す。

* :認められた事業体(Recognized Operating Agency)

¹ 本会合中は正式には議長代理であるが、第1回プレナリにおいてSG7議長から、本WP会合終了後(2025年3月27日)に開催されるSG7において正式に任命する予定であると確認され、実際に後日正式に任命されたことから、本報告書においては以下「WP7B議長」と表記する。

表 1 WP7B の審議体制

WP/WG/DG		検討案件	議長/議長代理
WP7B Plenary		WG に割り当てられない文書、及び複数の WG で作業を分担する文書	Catherine Sham 氏(米国)
WG7B-1		静止衛星及び静止軌道以下の SRS 及び SOS 等 (WRC-27 議題 1.1, 1.2, 1.6, 1.7, 1.11 (SOS s-E 関連), 1.12, 1.13, 1.14)	Ted Berman 氏 (米国)
	DG SA.[2 GHZ SOS CHAR]	ITU-R 新勧告草案 SA.[2 GHZ SOS CHAR]	廣谷 奈々美氏 (日本)
WG7B-2		静止軌道以遠の SRS 及び SOS 等 WRC-27 議題 1.15、及び同議題と対象が重複する議題(WRC-27 議題 1.7, 1.11, 1.13, 1.19)	Kevin Knights 氏 (オーストラリア)
WG7B-3		地球探査衛星業務(EESS)及び気象衛星(MetSat)業務等 WRC-27 議題 1.11 (EESS)、1.12, 1.13, 1.14, 1.17, 1.19,	Philippe Tristant 氏 (フランス/欧州気象衛星開発機構)

表 2 日本からの出席者(敬称略・順不同)

氏名		所属
1	糸 将之	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課
2	伊藤 有希	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課
3	横山 隆裕	一般社団法人 電波産業会 研究開発本部
4	橋本 昌史	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
5	市川 麻里	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
6	岩名 泰典	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
7	廣谷 奈々美	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
9	増田 宏一	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室 (宇宙技術開発株式会社)
9	福原 好晴	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室 (宇宙技術開発株式会社)
10	三留 隆宏	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室 (スカパーJSAT 株式会社)
11	福井 裕介	KDDI 株式会社 コア技術統括本部技術企画本部衛星統括部
12	伊藤 直	KDDI 株式会社 先端技術統括本部先端技術企画本部ビジ

		ネス企画室
13	片山 麻衣子	ワシントンコア L.L.C.
14	地引 史子	ワシントンコア L.L.C.

表 3 WP7B への日本寄与文書の審議結果

文書番号 7B/*	件名	担当 WG	審議結果	出力文書 7B/TEMP /*
121	ITU-R 新勧告草案 SA.[2 GHz SOS CHAR]の修正提案	WG7B-1	修正提案は新勧告草案に反映され、新勧告案として SG7 に上程された。	49
122	WRC-27 議題1. 7に関連した WP5D からのリエゾン文書への返答案	WG7B-1	欧州宇宙機関(ESA)とロシアそれぞれからの提案と合わせたリエゾン文書に提案はおおむね反映され、WP5D 宛に発出された。	53

5. 審議の内容

5.1. WP7B プレナリ

Catherin Sham 氏(米国)が議長(※)を務め、プレナリの入力文書、各 WG からの出力文書について審議した。

入力文書： 7B/97、97 Annex 13(WP7B 議長)、98(WP7D)、99 (WP7D)、100(WP7D)、102(WP7D)、104(WP7C)、109 (WP4A)、110(WP4A)、111(WP4A)、112(WP6A)、113 (WP6A)、141(ドイツ)、142(ドイツ)、147(ブラジル)
SG7 に上程した文書：7B/TEMP/49、51、52
議長報告に添付：7B/TEMP/44、45、46、48、54、55、56、57、58、61、64
リエゾン文書案：7B/TEMP/47、50、53、59、60、62、63、65
出力文書： SG7 へ上程した文書：7B/TEMP/49、51、52
WP7B 議長報告：7B/150 Annex 1-11
他 WP 宛リエゾン文書：8 件

〔結論〕

次の 3 件の出力文書を承認し、SG7 に送付した

- ・ 新 ITU-R 勧告案 SA.[2.0 GHz SOS CHAR](7B/TEMP/49)
- ・ ITU-R 勧告 SA.2141-0 改訂案(7B/TEMP/51)
- ・ 新 ITU-R 報告案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] (7B/TEMP/52)

8件の他 WP 宛リエゾン文書を承認し、送付した。

11 件の TEMP 文書を議長報告書に添付し、継続審議とした。

〔主な議論〕

(1) プレナリ審議文書

- ・ 前回 WP7B 会合議長報告(7B/97)
 - 2024 年 9 月に開催された WP7B 会合の報告書については、質疑なく承認された。
- ・ WP7B が寄与グループになっている WRC-27 議題関連の他 WP からの以下のリエゾン文書は一括で了知された。

7B/	送付元	題目
98	WP7D	WRC-27 議題 1.11 に関連した WP4C 宛の返答
99	WP7D	WRC-27 議題 1.12 と 1.13 に関連した WP4C 宛の返答
100	WP7D	WRC-27 議題 1.1 に関連した WP4A 宛の返答
102	WP7D	WRC-27 議題 1.7 に関連した WP5D宛の返答
104	WP7C	WRC-27 議題 1.14に関連した WP4C 宛の返答
109	WP4A	WRC-27 議題 1.2に関連した WP5B宛の返答
112	WP6A	WRC-27 議題 1.17に関連した WP7C 宛の返答
113	WP6A	WRC-27 議題 1.6に関連した WP4A宛の返答

- ・ 「衛星通信及び技術ハンドブック」の作業開始と目次案(ToC)を知らせるリエゾン文書(7B/110(WP4A))
 - WP4Aから、衛星通信及び技術に関するハンドブック策定作業の最新情報(目次案の作成)を知らせ、関連する各WPに協力を求める内容のリエゾン文書が送付された。
 - WP7B議長から、本WPとしても衛星に関しての知見があることから、参加している組織や主管庁において、いずれかの箇所に適切な内容があればWP7B に寄書を提出し、これをWP4A宛に送付することも検討したいとの方針が提示された。
 - この方針に対して、米国からはWP4AはWP4B及び4Cには直接の寄与を求めているがWP7Bに対しては求める文言はないことから、WP7Bにおいては特にアクションは不要であるとの意見が述べられた。また、ATDIからもWP7B には主に情報として送付されており、必要に応じてアクションを求めているだけであるとの意見が述べられた。
 - 検討の結果、今回は WP7B から WP4B に提供できる情報はないとのコンセンサスが得られたことから、リエゾン文書は了知され、返答は見送られた。
- ・ ITU-R 決議第 74 に関する活動(「持続可能な周波数使用のためのベストプラクティスに関するハンドブック」の作業開始と目次案を知らせるリエゾン文書(7B/111(WP4A))
 - WP4A から、2024 年 10 月会合において宇宙無線業務による周波数及び関連非静止衛星軌道の持続可能な利用のためのベストプラクティスに関するハンドブック草案に向けた作業文書の目次案を作成したことを連絡し、意見を求め、主管庁及び関連組織に対して情報を提供するように促すことを依頼するリエゾン文書が送付された(7B/111)。
 - これに対し、ドイツからは、宇宙での無線通信(SRS、SOS、EESS、MetSat のテレコマンド、追跡とテレメトリーデータ)が含まれていることを通知し、主に 2.6 項(Non-GSO spacecraft identification)に WP7B の意見を反映することを求める必要があるとして、本リエゾン文書の返答案(7B/142)

及び同ハンドブックに関連した文書(WD-PDNR [SOS Identification])の作成開始を提案する作業文書(7B/141)が提出された。

- ✧ プレナリにおいては、イランから Sustainability の意味するところが不明であるとして、より高位の会合で議論すべき内容であるとし、返答するのであれば具体的な内容ではなくまずテーマについて問うべきであるとの主張があった。
 - ✧ ドイツが提案しているデブリ識別のシステムについて、イランからは ITU の管轄外であるとの意見が述べられた。日本からも、具体的にどのようなシステムが想定されているかが不透明である旨を指摘した。
 - ✧ 米国は、本リエゾン文書において WP7B には直接の寄与は求められていないとして返答すること自体に慎重な意見を述べた。
 - このような議論を経て、前回会合に引き続き、WP7B をリードグループとし、SG7 傘下の他 WP からの参加者も交えて非公式のグループでの議論が行われた。第 2 回プレナリでは、このグループから、当該ハンドブックの目次案も作成途中であり、WP7B(あるいは SG7)として返答する時期ではないとして、返答しないとの結論に至ったことが報告された。
 - この結論について、イランは、問題は WP4A が作成中の目次案ではなく、ハンドブックのテーマ(Space sustainability)が意味するところが不明であるという点であり、SG7 議長は次回の RAG でこの問題について提起すべきであると述べた。一方、米国は共通の見解がないため、SG7 議長が別の会議でそのようなことを述べることは許容できないと主張した。
 - 米国の主張に対して、SG 議長が傘下の会議で行われた議論について報告する際、参加した主管庁の許可が必要であるという見解に疑問を呈した。イランからは SG 議長の発言は SG や傘下の WP を代表するわけではなく、SG 議長としての見解であると反論した。
 - 本件については、WP4A からのリエゾン文書を情報として了知することにとどめ、返答文書の作成を見送ると共に、ドイツからの 2 件の寄与文書については、返答は不要との結論に達した。
- ・ 宇宙の持続可能性と科学業務の保護に関するブラジルの貢献についての報告(7B/147)
 - 2025 年 2 月にオーストリアで開催された COPUOS(国連宇宙空間平和利用委員会)第 62 回科学技術小委員会(STSC)と、2024 年 10 月にアルゼンチンで開催された 2024 年電波干渉国際会議(RFI2024)における、科学業務の保護に特に焦点を当てたブラジルの宇宙持続可能性に関する寄与について報告する文書で、特に ITU に関連するブラジルの技術や規制に関する内容を添付している。
 - 前回会合でも同国が類似の報告をしており、引き続き COPUOS 及び関連会議での動きを報告することになっていた。同文書は情報として了知された。

(2) SG7 に上程する文書の検討

- ・ 各 WP から上程された次の 3 件の文書は承認され、SG7 に上程された。

<WG7B-1>

- 新 ITU-R 勧告草案 SA.[2GHz SOS CHAR](干渉評価及び共用検討に使用される、2025-2110MHz(地球から宇宙)(宇宙から宇宙)及び 2200-2290MHz(宇宙から地球)(宇宙から宇宙)周波数帯を使用する宇宙運用業務(SOS)の技術及び運用諸元)(7B/TEMP/49 Rev.1)

※本文書は第 2 回プレナリに TEMP/49 として承認を求めて提出されたが、大幅な修正が必要な指摘があったため差し戻され、最終プレナリに改めて Rev.1 として再提出され承認された(5.1.1.1 項を参照)。

- ITU-R 勧告 SA.2141-0 改訂草案(14.8-15.35 GHz 帯で運用される SRS システム)(7B/TEMP/51)

<WG7B-2>

- 新 ITU-R 報告草案 SA.[Lunar SRS Stations Char](月域における宇宙研究業務(SRS)用システムの技術・運用特性)(7B/TEMP/52)

<WG7B-3>

- なし。

(3) WP7B 外へ出力する文書の検討

- ・ 各 WG から承認を求められた 8 件のリエゾン文書案が次の通り承認された。

文書番号 7B/TEMP/ *	送付先	題目・関連 WRC-27 議題	担当 WG
47	WP7C	WRC-27 議題 1.19 に関する返答 (ITU-R 新報告 SA. [EESS_NGS])	7B-3
50	WP4C	WRC-27 議題 1.11 に関する返答	7B-1
53	WP5D	WRC-27 議題 1.7に関する返答	7B-1
59	WP5D	WRC-27 議題 1.15 に関する返答	7B-2
60	WP5D	7 145-7 190 MHz 帯で運用される SRS (深宇宙)と 6 425-7 125 MHz 帯で運用される IMT の局との調整の可能性についての返答	7B-2
62	WP4C	WRC-27 議題 1.11/1.13 と 1.15 の重複について	7B-2
63	WP 1B, 3J, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7A, 7C, 7D	WRC-27 議題 1.15 の進捗について(寄与グループ宛て)	7B-2
65	WP5B	WRC-27 議題 1.15 に関する返答	7B-2

(4) WP7B にて更なる検討を要する文書の検討

以下11件の文書を議長報告(7B/150)に添付し、継続審議とすることとした。

<WG7B-1>

- ・ 新 ITU-R 勧告草案 ITU-R SA.[2.0 GHz SRS & EESS CHAR] (7B/TEMP/48)

<WG7B-2>

- ・ 新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES]に向けた作業文書 (7B/TEMP/54)
- ・ WP7B 議長宛の書簡「月 SRS の代表的特性と運用のコンセプトに向けた作業

文書に関する報告」(7B/TEMP/55)

- ・ WRC 議題 1.15 の CPM テキスト案に向けた作業文書(7B/TEMP/56)
- ・ WRC 議題 1.15 と決議第 680 (WRC-23) に関する作業計画(7B/TEMP/61)
- ・ 宇宙研究通信に関するハンドブック(2014)の改訂案(7B/TEMP/64)

<WG7B-3>

- 新 ITU-R 報告草案 SA.[EESS-DOWNLINKS-37.5 TO 52.4 GHZ] の可能性検討を補助するための作業文書(7B/TEMP/44)
- 新 ITU-R 報告草案 SA.[EESS-UPLINKS-23GHZ]の可能性検討を補助するための作業文書(7B/TEMP/45)
- ITU-R 報告 SA.2488-0 改訂草案に向けた作業文書(7B/TEMP/46)
- 新 ITU-R 報告草案 SA.[EESS NGS 7-8GHZ]に向けた作業文書(7B/TEMP/57)
- ITU-R 勧告 SA.514-3 改訂草案に向けた作業文書(7B/TEMP/58)

(5) WP7B 副議長の任命

- ・ WP7B 議長から、現在空席となっている WP7B 副議長について、全研究会期同様に各 WG の議長 3 名を任命する提案があったが、イランが 2 名に限定すべきであるとの理由で反対した。
- ・ これを受け、WG7B-3 議長である Philippe Tristant 氏(フランス)が辞退を申し出たことから、Ted Berman 氏(米国)及び Kevin Knights 氏(オーストラリア)の 2 名が WP 副議長に任命された。

5.1.1. WG 7B-1(静止衛星及び静止軌道以下の SRS 及び SOS 等)

Ted Berman 氏(米国)が議長を務め、会期中に合計6回の審議を行い、割り当てられた 16 件の寄与文書(前回議長報告の添付を含む)について審議した。5 件の出力文書を作成したほか、WG7B-2 にリエゾン文書の一部となる情報を送付した。また、WP7B が担当する研究課題と勧告の現状について見直し、結果をプレナリに報告した。

入力文書: 7B/97 Annex 6, 7, 8, 10(WP7B 議長代理)、7B/107(WP4C), 108(WP4C), 118(WP5D), 121Rev1(日本), 122(日本), 123(ロシア), 128(カナダ), 135(米国), 136(米国), 137(インド), 139(インド), 146(ESA)

出力文書: 7B/TEMP/48, 49, 51, 53, 62

〔結論〕

1 件の新勧告草案、および 1 件の勧告改訂草案の作業を完了し、新勧告案・勧告改訂案として承認することを求めてWP7Bプレナリに上程した。

主に WRC 議題に関する他 WP 宛のリエゾン文書 2 件で合意し、承認を求めてプレナリに上程した。

新勧告草案 1 件を更新し、議長報告に添付して次回会合に持ち越すことで合意した。

本 WG に割り振られた ITU-R 研究課題及び勧告の状況について確認しプレナリに報告した。

5.1.1.1. 新 ITU-R 勧告草案 SA.[2 GHZ SOS CHAR]

- ・ 新 ITU-R 勧告草案 SA.[2 GHZ SOS CHAR]については、3 件の寄与文書が提出され、今回会合での新勧告案への格上げも提案された。
 - 7B/121 (Rev1)(日本)Table 5(NGSO SOS システム)の諸元の一部修正および編集上の修正を行ったうえで、新勧告案に格上げすることを提案。
 - 7B/128(カナダ)長楕円軌道の衛星の情報の追加、及び一部のシステムの運用パラメータの変更を提案。
 - 7B/139(インド)低地球周回の太陽同期軌道の衛星の情報の追加を提案。
- ・ 本項目については、DG(議長:廣谷 奈々美氏(日本、JAXA))を設置し、新勧告草案の更新について審議した。1 回の審議で 3 件の寄与文書をまとめた文書の審議を行った結果、インドが提案したシステムの最小仰角(2°)を無線通信規則の規定に合わせて 3°と修正したほかは編集上の修正を行い、DGでの審議は終了し、出力文書をプレナリに上程した(7B/TEMP/49)。
- ・ 中間プレナリでの審議において、次の点についての指摘事項があり、WGでの審議に差し戻されることになった。
 - Considering c)には、「共用検討を実施するためには当該周波数帯で運用されるシステムの運用特性が必要である」旨の記述があるが、自明であり不要である。この指摘を受け、当該部分を削除することで合意した。
 - 地球局の諸元の表に“Earth station antenna gain toward satellite”とする項目があるが、toward satellite は削除すべきである。これを受けて Receiving antenna と限定する提案もあったが、このような記述は文書全体に存在するため、全体の確認が必要である。
- ・ 改めてオフラインで検討した結果、主に以下の修正を行ったことが報告された。
 - 送信アンテナには Transmitting を追加
 - セクション 2.2、3.2、4.2.2. (いずれも ranging/tracking のシステムの諸元)について改めて必要性を検討したところ、これらのシステムは他のセクションで紹介されているシステムと重複していることが指摘されたことから、これらを削除し、必要に応じて tracking に関する説明をセクション 2.3 などに追加。
- ・ さらに、アンテナの“polarization”の表記について現在は RHCP と LHCP に分けて書かれていることについて、ブラジルからどちらのシステムも存在しており、片側にこだわることなく“CP(Circular Polarization)”とすればすべてのシステムをカバーできるためより適切であるとの提案があり、特に反対はなかったため、CP に書き換えることになった。
- ・ 以上の修正を行い、新勧告草案 SA.[2 GHZ SOS CHAR]は改めてプレナリに上程された(7B/TEMP/49)。プレナリで軽微な修正を行ったうえで承認され、新勧告案として SG7 に上程された。

5.1.1.2. ITU-R 勧告 SA.2141-0 改訂草案

- ・ ITU-R 勧告 SA.2141-0(14.8-15.35 GHz 帯で運用される SRS システム)については、2024 年 3 月会合において、WRC-23 議題 1.13(14.8-15.35 GHz 帯に二次分配されている宇宙研究業務の一次分配への格上げの検討)の結果を反映し、同勧告に含まれる SRS 宇宙局の送信諸元の修正とそれに伴い受信地球局の諸元変更を反映するための修正作業が行われてきた。

- ・ 今回合会においては、considering の一部に編集上の変更を提案する米国からの寄与文書(7B/136)を基に軽微な修正を行い、勧告改訂案に格上げすることで合意した(7B/TEMP/51)。

5.1.1.3. 新 ITU-R 勧告草案 SA.[2 GHz SRS & EESS CHAR]

※本項目は WG7C-3 でも検討された(5.1.3.1 項)。

- ・ 新 ITU-R 勧告草案 SA.[2 GHz SRS & EESS CHAR](干渉評価及び共用検討に使用される、2025-2120 MHz 帯を使用する宇宙運用業務(SOS)の技術及び運用諸元)については、以下の寄与文書が提出された。
 - 7B/135(米国)文中の表 1 と 2 に新たな送受信システム及びその諸元を追加することや一部の記述の修正を行い SG7 への上程を提案する。
- ・ 米国が提案した新たな送受信システムとその諸元の追加については特段の異論はなかったが、新勧告案への格上げについてはドイツや ESA から懸念が表明された。現状の勧告草案において、表 1 に掲載された EESS 地球局のパラメータ中に所在地として「米国」との表示があり、将来的な共用検討に使用する場合の汎用性に欠ける点が問題視された。この問題を解決するため、所在地の表示を削除して、別の場所でも適用できることを確かめる、または他の場所に存在する地球局のシステムを追加することが検討された。
- ・ 各国宇宙機関を中心に行われたオフラインでの検討の結果、ロシアとドイツから新たなシステムと諸元が追加され、ロシアからは地球局の諸元の表の所在地の欄を削除することが提案された。所在地を削除した場合、ドイツが追加したシステムは既存のシステムと類似していることから必要性は再度検討したい旨が述べられた。
- ・ 日本及び ESA からは、会合期間内に適切なシステムの諸元を提出することができなかったが、次回合会に改めて情報を提供する意思が示された。これに関連して日本から本新勧告草案で扱われるシステムと、今回完成した新 ITU-R 勧告案 SA.[2GHz SOS CHAR]及び ITU-R 報告 SA.2488に掲載されるシステムとの区別やこれらの報告・勧告との関連性について明確化が必要であることが指摘された。
- ・ WG7B-1議長からも、本勧告は緊急性も低く、次回合会で完成させれば問題はないとの意見が出されたことから、次回合会での完成を目指し、今回は次回合会に持ち越すことで合意した(7B/TEMP/48)。

5.1.1.4. WRC-27 議題 1.7 に関連した WP5D 宛リエゾン文書

- ・ WRC-27 議題 1.7(既存一次業務を考慮した、4400-4800MHz、7125-8400MHz(またはその一部)、及び 14.8-15.35GHz における IMT 使用のための共用・両立性検討、及び技術的条件の策定)については、前回合会で該当するシステム諸元・保護基準などを知らせるリエゾン文書を WP5D に送付した。
- ・ 今回合会には、以下の入力文書が提出された。
 - 7B/118(WP5D):前回 WP7B から送付した WRC-27 議題 1.7 のための検討に使用するための技術運用特性を知らせるリエゾン文書に対し追加の説明と情報を求めるもの。特に、保護基準を超過するような、地球に接近する宇宙機の遷移軌道の情報、及び通常の軌道での宇宙研究業務(近地球)及び宇宙研究業務(深宇宙)の保護基準について追加の情報が求められた。議題 1.7 と議題 1.15 で重複している周波数に関する見解も含まれている。
 - 7B/122(日本):WP5D から追加の説明を求められた“transfer operation”と宇宙研究業務(近地球)及び宇宙研究業務(深宇宙)の保護基準について説明するリエゾン文書の文案を提供。
 - 7B/123(ロシア):WP5D からの問い合わせに対し、リンクバジェットや C/I で

提供することはできないことを説明し、保護基準を最大許容干渉電力密度とすることを提案。

- 7B/146(ESA):宇宙研究業務(近地球)及び宇宙研究業務(深宇宙)の保護基準や運用について、特に打上げや初期軌道、地球フライバイ、地球帰還などの低高度の軌道についての更なる詳細な情報を提供。
- ・ WP5D からの問い合わせに返答するため、日本、ロシア、ESA からの寄与文書を合わせたリエゾン文書案が策定され、リンクバジェットの計算、宇宙研究業務(深宇宙)が所定の軌道に到達するまでの打ち上げや低高度の軌道にある間に適用される保護基準、ミッション前に宇宙機関同士で行われている調整手続き等について、さらなる説明を試みることになった。
- ・ 米国は、前回会合において、既存の ITU-R 勧告及び報告からの情報を抽出して具体的な保護基準等を指定することに強硬に反対したが、今回のリエゾン文書においても低高度の軌道にある間に適用される保護基準や調整手続きについての具体的な内容の言及に反対し、それらを含む記述について削除を求めた。しかし、ESA などは前回同様の方針で WP5D の理解が得られなかったことを考慮すれば、具体的な保護基準の記載もやむなしであるとして、一定程度米国の懸念に配慮して中立的な書きぶりに修正し、構成を一部変更して対応したが、削除には応じなかった。また、米国が保護基準とは関係がないとして削除を要求した、深宇宙ミッションへの干渉の結果の深刻さや、それを防ぐための取り組みについては、保護基準の順守だけでは完全に保護できないことを示すものであると強く主張し、米国の理解を求めた。
- ・ 米国はまた、WRC-27 議題 1.15 との対象周波数の重複したパラグラフについては別のリエゾン文書とするよう主張した。最終的に、議題 1.15 に関連する部分については切り離し、その要素については議題 1.15 関連審議を担当する WG7B-2 に提供した。これにより、本リエゾン文書は議題 1.7 に関連する内容のみとしたうえで、ESA や日本が提案した宇宙研究業務(深宇宙)のリンクバジェットや保護基準、周波数調整といった要素を盛り込んだリエゾン文書案が作成され、WP7B プレナリに上程された(7B/TEMP/53)。

5.1.1.5. その他 WRC-27 議題関連審議

<WRC-27 議題1.11>

- ・ 議題 1.11(1518-1544 MHz、1545-1559 MHz、1610-1645.5 MHz、1646.5-1660 MHz、1670-1675 MHz 及び 2483.5-2500 MHz 帯の宇宙から宇宙の回線のための技術上、運用上、規則上の手段の検討)に関連して WP4C から WP7B に対し、本議題において 1670-1675 MHz で運用される気象衛星(宇宙から地球)について共用検討を行う必要があるか尋ね、WP 議長同士での相談が必要である旨を提案するリエゾン文書が送付された(7B/108)。また、これに対し、WP4C の問い合わせ通り共用検討は必要であると返答リエゾン文書案が米国から提出された(7B/137)
- ・ 審議の結果、共用検討が必要であることが明らかであるとして、米国の提案を採用したリエゾン文書案を作成し、WP7B プレナリに上程した(7B/TEMP/59)。

<WRC-27 議題1.13>

- ・ WRC-27 議題 1.13(地上 IMT ネットワークのカバレッジを補完するための、宇宙局と IMT ユーザ機器の直接接続のための移動衛星業務への新規分配に関する検討)に関連して、WP4C から検討候補の具体的な周波数帯を知らせるリエゾン文書が送付された(7B/107)。
- ・ ロシアからは、追加して送付する情報はないとの返答を送付することが提案されたが、内容のないリエゾン文書を送付することに対して WG7B 議長からは否定的な

見解が述べられたことなどから、返答は送付せず議長報告に記載するのみとなった。

5.1.1.6. ITU-R 勧告 SA.1743-0 改訂作業に係る要素

- ・ ITU-R 勧告 SA.1743-0(他の電波源からの発射および放射による干渉に起因する、宇宙研究及び宇宙運用業務の無線通信リンクの最大許容劣化)は、2015-2019 研究会期で改訂の必要性があるとの共通理解から改訂草案が作成されていたが進捗はなく、前研究会期最後の 2023 年 10 月会合において持ち越されてきた勧告改訂草案を破棄し、今研究会期に新たに作業を開始することで合意し、ESA の入力文書を基に検討すべき論点をまとめた「ITU-R 勧告 SA.1743 改訂作業に係る要素文書」が作成され、議長報告に添付された。今研究会期に入っても新たな提案はなく前回議長報告添付され、持ち越されていた(7B/97 Annex 6)。
- ・ 今会合にも新たな寄与文書がなく、作業の中止も視野に入れた議論があったが、作業を中止することについての合意もできなかったことから、次回改めて議論することとし、入力文書は了知された(TEMP なし)。

5.1.1.7. WG7B-1 に割り振られた研究課題及び ITU-R 勧告 SA シリーズの確認

- ・ 研究課題 2 件(118-2 及び129)については特段の意見はなかった。
- ・ 勧告については、長年改訂されていない古い勧告や、WRC-27 議題と関連する内容の勧告など、6 件について改訂の検討が必要である可能性が示唆された。しかし、勧告 SA.1743 など WG 議長から「改訂候補」との覚書を行うことが提案されたものの一部については、米国が改訂を前提とする記述には反対であると主張したことから NOC とされた。
- ・ これらの結果は他 WG からの報告とともにプレナリに報告された(出力文書なし)。

5.1.2. WG 7B-2(静止軌道以遠の宇宙研究業務及び宇宙運用業務等)

Kevin KNIGHTS 氏(オーストラリア)が議長を務め、出力文書について審議した。

入力文書: 7B/97(WP 7B 議長代理)付録 1、付録 2、付録 3、付録 9、付録 12、7B/101(WP 7D)、7B/103(WP 7C)、7B/105(WP 5D)、7B/106(WP 4C)、7B/114(WP 5B)、7B/115(WP 5A)、7B/116(無線通信局長)、7B/117(WP 5D)、7B/119(WP 3J)、7B/120(ドイツ)、7B/124(中国)、7B/125(電波天文と宇宙科学のための周波数割当に関する科学委員会(IUCAF))、7B/126(IUCAF)、7B/127(韓国)、7B/130(ロシア)、7B/131(WP 4C 議長・WP 7B 議長代理)、7B/132(米国)、7B/133(米国)、7B/134(米国)、7B/138(インド)、7B/143((ESA)

出力文書: 7B/TEMP/52 、 7B/TEMP/54 、 7B/TEMP/55 、 7B/TEMP/56、7B/TEMP/59、7B/TEMP/60、7B/TEMP/61、7B/TEMP/62、7B/TEMP/63、7B/TEMP/64、7B/TEMP/65

〔結論〕

5 件の前回の会合の議長報告書の付録を基に、21 件の寄与文書を審議し、11 件の出力文書を作成し、暫定文書として WP7B 本会議に附議した。

〔主な議論〕

以降のとおり、出力文書案を検討し、承認した。

5.1.2.1. WRC-27 議題 1.15 に関する活動計画案

WRC-27 議題 1.15(決議第 680(WRC-23))に関する活動計画案の更新について審議した。

入力文書: 7B/97 付録 3(WP7B 議長代理)

出力文書: 7B/TEMP/61

〔結論〕

WRC-27 議題 1.15 に関する活動計画案が更新された。WP 議長報告書に添付し、次回の会合以降も引き続き更新していく。

〔主な議論〕

- ・ 決議第 680(WRC-23)に基づく WRC-27 議題 1.15 に関する活動計画案(7B/97 付録 3)の更新を審議した。
- ・ 第 3 回会合(今回会合)にて、新 ITU-R 報告 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] の作成作業は完了した。
- ・ 決議第 680 の ITU-R への要請事項第 1 項及び第 2 項の作業は、第 4 回会合(2025 年 9 月開催予定)に移行する。
- ・ 2026 年は 3 月及び 9 月に開催することを予定している。
- ・ CPM テキスト案の提出期限は 2026 年 10 月 23 日に決定されたため、第 6 回会合(2026 年 9 月開催予定)が CPM テキスト案の提出期限前の最終会合であり、CPM 文章案の作成作業を完了させなければならない。
- ・ 第 7 回会合(2027 年開催予定)は、WRC-27 の開催前の最終会合となるため、WRC-27 に関連する文書を完成させる。
- ・ 今回の WP7B 会合の議長報告書に添付することで、更新した活動計画案(7B/TEMP/61)を WP7B 本会議に附議した。

5.1.2.2. WRC-27 議題 1.15 に基づく研究のために他の WP から受領したリエゾン文書の確認

WRC-27 議題 1.15(決議第 680(WRC-23))に基づく研究のために他の寄与 WP から受領したリエゾン文書を審議した。

入力文書: 7B/101(WP7D)、7B/103(WP7C)、7B/105(WP5D)、
7B/106(WP4C)、7B/114(WP5B)、7B/115(WP5A)、
7B/119(WP3J)

出力文書: 7B/TEMP/59、7B/TEMP/65

〔結論〕

WP5B 及び WP5D から受領したリエゾン文書には、返答リエゾン文書を送付することになった。その他の WP から受領したリエゾン文書については、WP7B からの返答は不要となった。

〔主な議論〕

- ・ WRC-27 議題 1.15 の研究のために各寄与 WP (WP3J、WP4C、WP5A、WP5B、WP5D、WP7C、WP7D) から受領したリエゾン文書 (7B/101、7B/103、7B/105、7B/106、7B/114、7B/115、7B/119)を確認した。
- ・ WP5B 及び WP5D には返答することになり、返答リエゾン文書案が審議された。(議論の概要は 5.1.2.5 項を参照のこと。)
- ・ その他の WP には、返答は不要となった。

5.1.2.3.WRC-27 議題 1.15 と議題 1.11 及び議題 1.13 にて重複している検討対象周波数の検討

WRC-27 議題 1.15(決議第 680(WRC-23))と議題 1.11(決議第 249(WRC-23 改訂))及び議題 1.13(決議第 253(WRC-23))とで重複している検討対象の周波数に関する研究について審議した。

入力文書: 7B/131(WP4C 議長・WP7B 議長代理)

出力文書: 7B/TEMP/62

〔結論〕

WP4C 議長・WP7B 議長代理が推奨する見解について WP7B の見解を審議した。WP7B の見解を WP4C へリエゾン文書にて連絡することとなった。

〔主な議論〕

(1) 寄与文書紹介

- ・ 7B/131(WP4C 議長・WP7B 議長代理)
WP4C が担当する WRC-27 議題 1.11 及び議題 1.13 と WP7B が担当する議題 1.15 とで重複している検討対象の周波数については、静的な予備計算の結果より、それぞれの WP にて、各議題の研究を個々に進めていくことを推奨する見解が示された。

(2) 検討方針の議論

- ・ 日本は相互に干渉は小さいと想定されることから、ESA も計算結果を確認し大きなマージンがあることから、両 WP 議長からの提案を支持できるとの見解を示した。
- ・ しかし、米国は、技術検討は WP の議長が行うものではなく研究委員会で行うべきものであり、加盟主管庁からの寄与文書による WP での研究を基に決定すべきで、

WP7B として合意しているものではないと主張し、日本も、各主管庁が支持する必要があると、米国の懸念に理解を示した。

- ・ 作業班議長は今回の会合での再議論を提案し、日本も同意したが、米国は拙速に進めるべきものではないと主張し、次回の会合(2025 年 9 月開催予定)にて議論することとなった。
- ・ WP7B では両議長で実施された計算は情報として取り扱うべきとの見解を示すリエゾン文書を WP4C へ送付することで、リエゾン文書案(7B/TEMP/62)を WP7B 本会議へ附議した。

5.1.2.4.新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] の作成

WRC-27 議題 1.15(決議第 680(WRC-23))に基づく研究のために作成している新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] の更新を審議した。

入力文書: 7B/97 付録 1(WP7B 議長代理)、7B/120(ドイツ)、7B/124(中国)、7B/127(韓国)、7B/132(米国)、7B/138(インド)

出力文書: 7B/TEMP/52

〔結論〕

寄与文書に基づき、新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] の更新を審議した。新報告案に格上げすることで WP 本会議に提出することとなり、作業班での文書の作成作業は完了した。

〔主な議論〕

(1) 寄与文書紹介

- ・ 7B/120(ドイツ)
WP7B で検討を進めている新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] について、主に表現の修正が提案された。
- ・ 7B/124(中国)
WP7B で検討を進めている新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] について、一部の表現の変更や情報の拡充、月データ中継衛星に関する軌道情報や技術・特性情報の更新や追加が提案された。
- ・ 7B/127(韓国)
WP7B で検討を進めている新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] の概要において、本報告の作成にあたっては月や天体での活動の法的枠組みである宇宙条約の平和利用、資源共有、国際協力の基本原則を考慮する必要があることを追記することが提案された。
- ・ 7B/132(米国)
WP7B で検討を進めている新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] について、導入・展開シナリオに関する新たな項の追加や月近傍システムの特性情報の更新が提案された。

- ・ 7B/138(インド)

WP7B で検討を進めている新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] について、2400～2483.5 MHz 帯及び 2500～2690 MHz 帯での宇宙研究業務の月面上の宇宙局間での通信の技術特性情報の追加が提案された。

(2) 文書の更新案の審議

- ・ 中国、米国及びインドからの提案に基づき、新報告草案で報告する月近傍での通信の特性情報が更新された。
- ・ 概要において、月データ中継衛星は本報告の対象外と説明するドイツからの提案については、ロシアからの指摘により、WRC-27 議題 1.15 の対象であることが確認された。
- ・ 韓国からの追記提案については、フランスは ITU-R での議題の活動に基本方針をどのように影響させていくのか疑義を呈し、米国、ESA 及びブラジルも、本 WP で制定された基本方針ではないこと、本報告は共用検討のための特性情報をまとめる報告であること、そして WRC-27 議題 1.15 の活動に関係するものではないことを指摘し、取り下げられた。
- ・ 新報告草案を報告案に格上げ(7B/TEMP/52)し、WP7B 本会議に附議した。

5.1.2.5.新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] の作成

WRC-27 議題 1.15(決議第 680(WRC-23))に基づく研究のために作成している新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] の更新を審議した。

入力文書： 7B/97 付録 2(WP7B 議長代理)、7B/105(WP5D)、7B/114 (WP5B)、7B/130(ロシア)、7B/133(米国)

出力文書： 7B/TEMP/54、7B/TEMP/59、7B/TEMP/65

〔結論〕

寄与文書に基づき、新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES]の更新を審議した。WP 議長報告書に添付し、引き続き更新作業を継続する。

WRC-27 議題 1.15 に基づき検討している共用検討の状況について、WP5B 及び WP5D ヘリエゾン文書を送付し連絡することになった。

〔主な議論〕

(1) 寄与文書紹介

- ・ 7B/130(ロシア)

WP7B で検討を進めている新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] について、宇宙研究業務での月データ中継衛星と既存の地上系業務との共用検討結果の追加が提案された。月データ中継衛星から発射される電波の地上での電力束密度は無線通信規則表 21-4 にて規定されている電力束密度制限を遵守できていることから、更なる条件での共用検討は必要ないであろうと主張している。

- ・ 7B/133(米国)
WP7B で検討を進めている新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] について、各周波数帯における共用・両立性検討における特性情報や状況、条件及び共用・両立性検討の結果の追加が提案された。

(2) 文書の更新案の審議

- ・ ロシアが提案した解析結果は付録 11 に追加された。
- ・ ロシアは、ロシアの解析結果の付録 9 及び付録 10 との統合の可能性や、付録 9 及び付録 10 の必要性について検討、確認したが、今後、決議にて識別されている既存業務との新たな共用検討が追加される可能性も考慮し、現時点では現行の構成とすることとなった。
- ・ ESA は、米国から提案された解析結果に、全体的に大きなマージンがあることから、地上系との主要な共用検討については最終化を開始し、更なる検討は不要であるとの見解を示したが、米国は、まだ実施していない解析もあることから、結論は時期尚早であるとの見解を示した。
- ・ 今回会合の WP7B 議長報告書に添付することで、更新した暫定文書(7B/TEMP/54)を WP7B 本会議に附議した。

(3) WP5D へのリエゾン文書案の審議

- ・ WP5D へ、WRC-27 議題 1.15(決議第 680(WRC-23))と議題 1.7(決議第 256(WRC-23))で重複している検討対象の周波数の研究に関するリエゾン文書を送付することとなり、リエゾン文書案が審議された。
- ・ ロシアが草案を草稿し、WRC-27 議題 1.15 に基づき実施した研究の結果から、月近傍での宇宙研究業務の送信は地表面電力束密度制限を超過しないことから、制約・制限等の条件は不要である見解を連絡することを提案したが、米国は、WRC-27 議題 1.15 に基づく活動は継続されており、結論は得られていないと主張した。
- ・ ロシア及び ESA は、WP7B での WRC-27 議題 1.15 に基づく研究の結果、及びそれに基づき干渉の懸念はないとの情報は、WP5D での検討にも重要な情報となることから連絡すべきであると主張し、ドイツも支持したが、米国は一貫して、活動は完了しておらず、結論は得られていないと主張した。
- ・ ESA 及びドイツが、地表面電力束密度制限は地上系通信の保護のために宇宙業務に適用される制限であり、国際移動無線通信も他の衛星業務から地表面電力束密度制限で保護されていることを説明し、WRC-27 議題 1.15 での月近傍の宇宙研究業務にも適用できることを主張したが、米国は、月近傍の宇宙研究業務からの保護基準は、WRC にて検討のもとで決定されるものであると主張した。
- ・ WP5D には、WRC-27 議題 1.15 に基づく研究の結果を報告している新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] を紹介するにとどめ、評価結果についての検討に関する言及はしないこととし、リエゾン文書案(7B/TEMP/59)を WP7B 本会議へ附議した。

(4) WP5B へのリエゾン文書案の審議

- ・ WRC-27 議題 1.15(決議第 680(WRC-23))に基づく研究に関連して、WP5B が管掌している無線測位業務との共用・両立性検討について、WP5B へリエゾン文書を送付することとなり、リエゾン文書案が審議された。

- ・ ロシアが草案を草稿し、WRC-27 議題 1.15 の議題での検討の対象である周波数帯及び無線通信業務は決議第 680(WRC-23)の認識事項 g)～n) 項で特定されているものであり、WP5B から受領したリエゾン文書(7B/49、7B/114)にて示された情報は決議に基づいたものではなく、無線測位業務は決議第 680(WRC-23)の決議事項第 4 項の対象外であり、WP7B では、まずは決議にて識別されている無線通信業務についての検討が優先であることを説明した。
- ・ 米国からの提案により、決議第 680 の認識事項 g)～n) 項では無線測位業務は含まれていない説明は削除することとし、ロシアは、無線測位業務の保護に関心のある主管庁の寄与文書の入力を歓迎した。
- ・ ロシアは、8500～10680 MHz 帯の無線測位業務との検討においては、すでに分配されている宇宙研究業務(宇宙から地球)で制限が検討されており、これ以上の検討は不要であるとの見解を示したが、米国は、これまでに本検討に関する寄与文書がないことを指摘し、結論には時期尚早であることを主張した。
- ・ ロシアは、既存の分配業務との共用検討をまとめている新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] には隣接帯域の両立性検討は含まれていないことを指摘した。
- ・ 作業班議長は、リエゾン文書に隣接帯域の検討は決議の対象ではないことを補足することを提案したが、ロシアは、最優先ではないが、一方で他の周波数帯も含めることもできると異論を唱えた。
- ・ WP5B に送付することで、リエゾン文書案(7B/TEMP/65)を WP7B 本会議へ附議した。

5.1.2.6. 月での宇宙研究業務の代表特性及び運用構想に向けた作業文書の作成

WRC-27 議題 1.15(決議第 680(WRC-23))に基づく研究に関連して検討している月での宇宙研究業務のための代表特性及び運用構想に向けた作業文書を審議した。

入力文書： 7B/97 付録 9(WP7B 議長代理)

出力文書： 7B/TEMP/55

〔結論〕

更新はなく、引き続き WP 議長報告書に添付し、次回の会合以降での本文書の更新のための寄与文書の入力が要請された。

〔主な議論〕

(1) 文書の審議

- ・ 本文書ではすでに分配されている宇宙研究業務の周波数の使用についても取り扱っており、WRC-27 議題 1.15(決議第 680(WRC-23))の研究のための文書は他に作成している。

- ・ 現時点では日本の特定の月ミッションの代表特性及び運用構想のみがまとめられている。
- ・ 今回の会合では寄与文書の入力がなかったことから更新はなく、ロシアからの提案により、WP7B 会合の議長報告書に添付し、各主管庁に代表月ミッションの説明の提供を要請することとなった。
- ・ WG 7B-2 から WP7B 議長へ、今回の会合では更新はなく、引き続き WP7B 議長の報告書に添付することを報告(7B/TEMP/55)した。

5.1.2.7.WRC-27 会合のための議題 1.15 の CPM 文章草案に向けた作業文書の作成

2027 年世界無線通信会議(WRC-27)のための議題 1.15(決議第 680(WRC-23))の CPM 文章草案に向けた作業文書を審議した。

入力文書: 7B/116(無線通信局長)、7B/134(米国)

出力文書: 7B/TEMP/56

〔結論〕

WRC-27 議題 1.15 の CPM 文章草案の検討が開始された。今回の会合で提案された文章草案を原案として WP 議長報告書に添付し、次回の会合から完成に向けて更新していく。

〔主な議論〕

(1) 寄与文書紹介

- ・ 7B/116(無線通信局長)
CPM 報告案の作成にあたり、無線通信規則(2024 年版)に基づく WRC-27 向けの会合提案インターフェース(CPI)の暫定版の使用を要請している。また、CPM 報告の構成を 2024 年 12 月 4 日付で更新(CA/270 の Corrigendum 1 to Addendum 1)したことが連絡された。
- ・ 7B/134(米国)
WRC-27 議題 1.15 の CPM 文章草案に向けた作業文書が提案された。

(2) 文書の審議

- ・ 米国から提案された CPM 文章草案を原案として次回の会合から審議を開始することとし、今回の WP7B 会合の議長報告書に添付することで、WP7B 本会議に附議した。

5.1.2.8.各寄与 WP への WRC-27 議題 1.15 に基づく活動の進捗状況の連絡

WRC-27 議題 1.15(決議第 680(WRC-23))に基づく WP7B での活動の進捗状況について、各寄与 WP へ連絡するリエゾン文書を審議した。

入力文書： なし

出力文書： 7B/TEMP/63

〔結論〕

WRC-27 議題 1.15 に基づく WP7B での活動の進捗状況を本議題の各寄与 WP にリエゾン文書で連絡することとなった。

〔主な議論〕

(1) リエゾン文書案の審議

- ・ WRC-27 議題 1.15(決議第 680(WRC-23))に基づく WP7B での活動の進捗状況について、本議題の各寄与 WP(WP1B、WP3J、WP4A、WP4C、WP5A、WP5B、WP5C、WP5D、WP7A、WP7C、WP7D)へリエゾン文書で連絡することとなった。
- ・ 主に以下の進捗状況を連絡することとした。
 - ITU-R 新報告案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] の作成完了
 - ITU-R 新報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] に向けた作業文書の更新
 - WRC-27 議題 1.15 の CPM 文章草案に向けた作業文書の検討の開始
 - WRC-27 議題 1.15 に関する活動計画案の更新
- ・ WRC-27 議題 1.15 の各寄与 WP へ送付することで、リエゾン文書案(7B/TEMP/63)を WP7B 本会議へ附議した。

5.1.2.9.7145～7190 MHz 帯で運用している宇宙研究業務(深宇宙)の無線局の 6425～7125 MHz 帯で運用して国際移動無線通信の無線局との調整の実現性

7145～7190 MHz 帯で運用している宇宙研究業務(深宇宙)の無線局と 6425～7125 MHz 帯で運用している国際移動無線通信の無線局との調整の実現性に関する WP5D へのリエゾン文書案を審議した。

入力文書： 7B/117(WP5D)

出力文書： 7B/TEMP/60

〔結論〕

WP5D で検討されている ITU-R 新報告／勧告草案 M.[SRS-IMT] の確認は次回の会合で審議することとなり、WP5D へリエゾン文書にて連絡することとなった。

〔主な議論〕

(1) 寄与文書紹介

- ・ 7B/117(WP5D)
決議第 20(WRC-23)に基づき検討している ITU-R 新報告／勧告草案 M.[SRS-IMT] の進捗状況が報告された。

2025 年 10 月に開催予定の会合にて文書を完成させるため、2025 年 6 月／7 月に開催予定の会合にて、文書を作業文書から草案へ格上げすることを計画していることが連絡された。ただし、報告か勧告かは未定とのことである。

(2) リエゾン文書案の審議

- ・ WP5D へ返答することになり、ロシアが返答リエゾン文書案を草稿した。
- ・ WP5D からのリエゾン文書(7B/117)の入力から今回の WP7B 会合まで数週間しか期間がなかったことから、2025 年 9 月に開催を予定している次回の WP7B 会合で議論することとし、WP5D には、議論が完了しておらず、文書の確認には更なる時間を要することを連絡することとなった。
- ・ WP5D に送付することで、リエゾン文書案(7B/TEMP/60)を WP7B 本会議へ附議した。

5.1.2.10. IUCAF から入力された文書

IUCAF から入力された 2 件の寄与文書を審議した。

入力文書： 7B/125(IUCAF)、7B/126(IUCAF)

出力文書： なし

〔結論〕

IUCAF から入力された 2 件の寄与文書については、WP7B の管掌ではないとの見解で合意された。

〔主な議論〕

(1) 寄与文書紹介

- ・ 7B/125(IUCAF)
275 GHz より高い周波数帯での電波天文への有害な干渉となる閾値レベルを勧告する ITU-R 新勧告草案に向けた作業文書案が提案された。
- ・ 7B/126(IUCAF)
月遮蔽区域での電波天文への有害な干渉となる閾値レベルを勧告する ITU-R 新勧告草案に向けた作業文書案が提案された。

(2) リエゾン文書案の審議

- ・ 7B/125 について、WP 議長は、WP7B へ送付されてくるものではないとの見解を示し、WP7B では対応はないとして WP7B 本会議へ報告することとなった。

- ・ 7B/126 について、ロシアは、WP7D の本会議にて議論されてからリエゾン文書で送付されてくるものであるとの見解を示した。
- ・ 宇宙研究業務が分配されている周波数帯が対象とされていることには同意できないことが WP7B の共通見解であることが確認され、WP7D からの提案待ちであるとして WP7B 本会議へ報告することとなった。

5.1.2.11.宇宙研究通信に関するハンドブックの改訂

宇宙研究通信に関するハンドブックの改訂案を審議した。

入力文書： ハンドブック第 43 号、7B/97 付録 12(WP7B 議長代理)、
7B/143(ESA)

出力文書： 7B/TEMP/64

〔結論〕

寄与文書に基づき、宇宙研究通信に関するハンドブックの更新を審議した。WP 議長報告書に添付し、引き続き次回の会合での更新機会を設けることとした。

〔主な議論〕

(1) 寄与文書紹介

- ・ 7B/143(ESA)
宇宙研究通信に関するハンドブックの改訂について、情報の拡充のほか、WRC-23 議題 1.13 の結果による周波数分配の変更の反映、ESA のミッション情報の現状への更新などが提案された。

(2) ハンドブック改訂案の審議

- ・ 今回の WP 会合の直後に開催された研究委員会(2025 年 3 月開催)には上程せず、2025 年 9 月に開催が予定されている次回の WP7B 会合での更新機会を設けることとし、ESA から提案された更新案(7B/143)を暫定文書案(7B/TEMP/64)として、今回の WP7B 会合の議長報告書に添付することで、WP7B 本会議へ附議した。

5.1.2.12.WG 7B-2 に割り振られた ITU-R 勧告 SA シリーズの確認

WG 7B-2 に割り振られている ITU-R 勧告 SA シリーズの状況を確認した。

入力文書： 7B/277(2023 年 10 月開催 WP7B 会合議長報告書)付録 2
(WP7B 議長)

出力文書： なし

〔結論〕

WG 7B-2 に割り振られている ITU-R 勧告 SA シリーズの状況を確認した。

〔主な議論〕

(1) ITU-R 勧告の状況の確認

- ・ ITU-R 勧告 SA.1030-0 は、前回の研究会期でも取り扱いが検討されていたもので、WP 議長が本勧告の要否について確認できる専門家を探していた。まだ専門家が見つかっておらず、主管庁に情報提供を奨励した。
- ・ WP 議長は、現時点で使用されていないのであれば、国際無線通信諮問委員会 (CCIR) 研究課題への回答と見なせ、本勧告は恐らく不要となるとの見解を示した。
- ・ その他の勧告については、改訂なしであることが確認された。

5.1.2.13. WG 7B-2 に割り振られた ITU-R 研究課題の確認

WG 7B-2 に割り振られている ITU-R 研究課題の状況を確認した。

入力文書： 7B/277(2023 年 10 月開催 WP7B 会合議長報告書)付録 3
(WP7B 議長)

出力文書： なし

〔結論〕

WG 7B-2 に割り振られている ITU-R 研究課題の状況を確認した。

〔主な議論〕

(1) ITU-R 研究課題の状況の確認

- ・ 全ての研究課題が改訂なしであることが確認された。

5.1.3. WG 7B-3 (EESS 及び MetSat 業務等 (WRC-27 議題 1.11 (EESS)、1.12、1.13、1.14 の一部及び 1.17、1.19 を含む))

Phillipe Tristant 氏 (EUMETSAT) が議長を務め、前回会合から持ち越された文書 4 件を含む 9 件の入力文書を審議した。

入力文書： 7B/97 Annex 4, 5, 8, 11
7B/129(カナダ), 135(米国), 140(フランス・米国), 144(ESA),
145(ESA)

出力文書： 7B/TEMP/44, 45, 46, 47, 48, 58

〔結論〕

他 WP 宛リエゾン文書 1 件(WP7D 宛、WRC-27 議題 1.19 関連)の送付で合意した。
ITU-R 勧告改訂草案 1 件、ITU-R 勧告改訂草案に向けた作業文書 1 件、新 ITU-R 報告草案 1 件、新 ITU-R 報告草案に向けた作業文書 3 件、ITU-R 報告改訂に向けた作業文書 1 件、の合計 7 件の TEMP 文書を議長報告に添付して持ち越すことで合意した。
SG7 に上程した文書はなかった。

〔主な議論〕

5.1.3.1. 新 ITU-R 勧告草案 SA.[2.0 GHZ SRS & EESS CHAR]

- ・ 前回会合から持ち越されてきた ITU-R 新勧告草案 SA.[2.0 GHZ SRS & EESS CHAR](干渉評価及び共用検討のために使用される、2025-2120MHz 帯(地球-宇宙)で運用される SRS 及び EESS システムの技術・運用特性)(7B/97 Annex 8)に対し、米国から、新たな衛星システム・探査機の情報の追加及び勧告案への格上げが提案された(7B/135)。WG7B-1 でも議論され、米国内の地球局のみについて記載されている点の問題が指摘されたことから、会合中にドイツ、ロシアから提供されたシステム情報を追加したほか、宇宙機関からも情報提供を募ることとし、ESA 及び EUMETSAT が次回会合で追加情報を入力する意図を示した。
- ・ 米国からは勧告案への格上げも提案されていたが、上記のとおり情報を追加することとなったことなどから、新勧告草案のまま次回会合に持ち越すことで合意した(7B/TEMP/48)。

5.1.3.2. 新 ITU-R 報告草案 SA.[EESS NGS 7-8GHZ]に向けた作業文書

- ・ 前回会合から持ち越されてきた ITU-R 新報告草案 SA.[EESS NGS 7-8GHZ](7 190-8 400 MHz 帯で運用する地球探査衛星業務用の衛星システムの発展)に向けた作業文書(7B/97 Annex 11)に対し、フランス及びドイツから、主にエディトリアルな更新の提案のほか、政府系・非政府系の区別をなくし、問題となり得る周波数帯の考察及び免許制度の例に関する項目を削除することが提案され(7B/140)、修正、編集を加えた上で作業文書に反映した。また、人道支援等に関するセクション 3.1.6 に関して、記載内容が ITU-R 文書の内容として適切であるかについて米国から疑義があったことからスクエアブラケットを付し、検討を継続することとした(7B/TEMP/57)。
- ・ また、米国から、cold calibration に関し WP7C と連携する必要があり、WRC-27 議題 1.19 の下で検討すべきとして、WP7C にリエゾン文書を送付することが提案された。WRC-23 議題 1.19 に関し既に情報として提供した ITU-R 勧告 SA.2488 における 8025-8400MHz 帯の技術・運用特性の補足として、現在 WP7B で作業中の新 ITU-R 報告草案 SA.[EESS NGS 7-8GHZ]に向けた作業文書に、WRC-23 議題 1.19 の下での隣接帯域 cold calibration の検討のための情報が記載されていることを連絡する内容のリエゾン文書案を米国が作成し、補足の特性情報を提供していることを明確化するなどの編集を加えた上で、リエゾン文書案として WP7B プレナリに上程することで合意した(7B/TEMP/47)。

5.1.3.3. ITU-R 報告 SA.2488 改訂草案に向けた作業文書

- ・ 前回会合から持ち越されてきた ITU-R 報告 SA.2488(地球探査衛星および気象衛星業務で運用されるシステムへの干渉評価及び共用検討に使用すべき特性)改訂草案に向けた作業文書(7B/97 Annex 4)に対し、カナダから、新たな地球局の情報や衛星システムの情報の追加が提案された(7B/129)。提案は特段の質疑なく作業文書に反映され、次回会合に持ち越すことで合意した(7C/TEMP/46)。

5.1.3.4. ITU-R 勧告 SA.514-3 改訂草案に向けた作業文書

- ・ ITU-R 勧告 SA.514-3(地球探査衛星業務および気象衛星業務で運用されるコマンド及びデータ伝送システムの干渉基準)改訂草案に向けた作業文書(7B/97 Annex 5)は数年間持ち越されてきており、本会合にも寄与文書は提出されなかった。しかし、ほかの勧告が対応していない周波数帯の EESS/MetSat 業務の干渉基準を扱う重要な勧告であるとして、同勧告の改訂のためにリンクバジェットの情報入力が必要な周波数帯を作業文書に記載し、次回会合に持ち越すことで合意した(7B/TEMP/58)。また、本作業文書に関する説明を WP7B 議長報告にも含めることで合意した。

5.1.3.5. WRC-31 暫定議題 2.10 及び 2.11

- ・ ESA から、WRC-31 暫定議題 2.10 に関し、22.55～23.15GHz 帯への地球探査衛星業務(地球から宇宙)の分配の見込みに関する検討のための ITU-R 新報告草案へ向けた作業文書の作成が提案された(144)。これに基づき作業文書を作成し、次回会合に持ち越すことで合意した(7B/TEMP/44)。
- ・ ESA から、WRC-31 暫定議題 2.11 に関し、40GHz 帯への地球探査衛星業務(宇宙から地球)の分配の見込みに関する検討のための ITU-R 新報告草案へ向けた作業文書の作成が提案された(145)。これに基づき作業文書を作成し、次回会合に持ち越すことで合意した(7B/TEMP/45)。

5.1.3.6. その他

- ・ WG7B-3 所掌の研究課題、勧告の現状を確認し、主に以下を更新して WP7B プレナリに報告した(7B/150、WP7B 議長報告)。
 - ITU-R 勧告 SA.1024-1(地球探査衛星(気象衛星を除く)からのデータ送信の所要帯域幅及び推奨周波数帯):WRC-31 議題 2.11 に関し改訂の対象となる可能性がある。
 - ITU-R 勧告 SA.1158-3(1 670-1 710 MHz 帯における気象衛星業務(宇宙→地球)と移動衛星業務(地球→宇宙)との周波数共用の実現可能性:過去の WRC 議題に関連して作成されたが、MSS の現状と合わなくなる可能性があるため、廃止の可能性も視野に入れ見直しが必要かもしれない。
 - ITU-R 勧告 SA.2045-0(将来の GSO 及び NGSO 気象衛星及び地球探査衛星システムによるデータ収集システムの長期的かつ協調的な利用に向けた 401～403 MHz 帯の基本的な周波数分割および共用条件:国際チャネルに関しいずれ更新が必要。
 - 研究課題は(特に作業が行われていないものに関しても)現時点ではアクション不要。

表 4 入力文書一覧

文書番号 7B/…	提出元	題目	担当 WG	出力文書 7B /TEMP/*
94	WP 7A	Reply liaison statement to Working Party 4A (copy to Working Parties 3M, 5A, 5B, 5C, 7B and 7C for information) – Information regarding the standard frequency and time signal-satellite service for WRC-27 agenda item 1.2 on smaller antenna sizes for FSS uplinks at 14 GHz	※ ²	—
95	WP 7A	Reply liaison statement to Working Party 7B (copy to Working Parties 3J, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7C and 7D for information) – Information on the standard frequency and time signal service with regards to WRC-27 agenda item 1.15 on lunar communications	※ ²	—
97+Ann.1-13	WP 7B 議長代理	Report of the meeting of Working Party 7B(Almaty, Kazakhstan, 18-27 September 2024)	—	
	Annex 1	Preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] - Technical and operational characteristics for space research systems in the vicinity of the Moon	7B-2	52
	Annex 2	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] - Sharing studies of space research systems for lunar operations under WRC-27 agenda item 1.15	7B-2	54
	Annex 3	Revised workplan for WRC-27 agenda item 1.15 and Resolution 680 (WRC-23)	7B-2	61
	Annex 4	Working document toward a preliminary draft revision of Report ITU-R SA.2488-0 - Characteristics to be used for assessing interference to systems operating in the Earth exploration-satellite and meteorological-satellite services, and for conducting sharing and compatibility studies	7B-3	46
	Annex 5	Working document toward a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SA.514-3 - Interference and sharing criteria for command and data transmission systems operating in the Earth exploration-satellite and meteorological-satellite services	7B-3	58
	Annex 6	Elements for a possible revision of Recommendation ITU-R SA.1743	7B-1	—
	Annex 7	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SA.2141-0 - Characteristics of space research service systems in the frequency range 14.8-15.35 GHz	7B-1	51
	Annex 8	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[2.0 GHZ SRS & EESS CHAR] - Technical and operational characteristics of the space research service and Earth exploration-satellite service systems in the 2 025-2 120 MHz	7B-1/3	48

² ※7B/94 及び 95 は前回会合中に提出された文書であり今回会合の文書リスト(7B/148)に含まれているが、審議された形跡はない。

文書番号 7B/...	提出元	題目	担当 WG	出力文書 7B /TEMP/*
		frequency band to be used for assessing interference and for conducting sharing and compatibility studies		
	Annex 9	Working document towards representative characteristics and concepts of operation for lunar SRS	7B-2	55
	Annex 10	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[2 GHZ SOS CHAR] - Technical and operational characteristics of the space operation service (SOS) systems that use the 2 025-2 110 MHz (Earth-to-space) (space-to-space) and 2 200-2 290 MHz (space-to-Earth) (space-to-space) frequency bands to be used for assessing interference and for conducting sharing studies	7B-1	49 Rev.1
	Annex 11	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[EESS NGS 7-8GHZ] - Evolution of Earth exploration-satellite service systems in the frequency range 7 190 to 8 400 MHz	7B-3	57
	Annex 12	Draft revision of the Handbook on Space research communication (2014)	7B-2	62
	Annex 13	List of output (TEMP) documents (Documents 7B/TEMP/15 - 7B/TEMP/43)	—	—
98	WP 7D	Reply liaison statement to Working Party 4C (copy to Working Parties 4A, 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 7B and 7C for information) – WRC-27 agenda item 1.11	Plenary	—
99	WP 7D	Reply liaison statement to Working Party 4C (copy to Working Parties 3L, 3M, 4A, 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C for information) – Technical information to support the studies for WRC-27 agenda items 1.12 and 1.13	Plenary	—
100	WP 7D	Reply liaison statement to Working Party 4A (copy to Working Parties 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7B and 7C for information) – Information to support the studies under WRC-27 agenda item 1.1	Plenary	—
101	WP 7D	Reply liaison statement to Working Party 7B (copy for information to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7A and 7C) – Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.15	7B-2	—
102	WP 7D	Reply liaison statement to Working Party 5D (copy to Working Parties 3K, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 7B and 7C for information) – Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.7	Plenary	
103	WP 7C	Reply liaison statement to Working Party 7B regarding WRC-27 agenda item 1.15	7B-2	—
104	WP 7C	Reply liaison statement to Working Party 4C (copy to the SG 7 Chair, the CPM Chair and to Working Parties 3L, 3M, 4B, 5A, 5C, 5D, 7B for information) – WRC-27 agenda item 1.14	Plenary	—
105	WP 5D	Reply liaison statement to Working Party 7B – WRC-27 agenda item 1.15	7B-2	59
106	WP 4C	Reply liaison statement to Working Party 7B – Technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.15	7B-2	—

文書番号 7B/...	提出元	題目	担当 WG	出力文書 7B /TEMP/*
107	WP 4C	Reply liaison statement to Working Parties 3L, 3M, 4A, 4B, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C and 7D (copy to Working Party 5D) – WRC-27 agenda item 1.13	7B-1	—
108	WP 4C	Reply liaison statement to Working Party 7B (copy to Working Parties 3L, 3M, 4A, 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 7C and 7D) – WRC-27 agenda item 1.11	7B-1	—
109	WP 4A	Liaison statement to working Party 5b (copy to Working Parties 3M and 7B for information) – Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.2	Plenary	—
110	WP 4A	Liaison statement to Working Parties 4B, 4C, 5A and 7B – Handbook on satellite communications and technologies	Plenary	—
111	WP 4A	Reply liaison statement to Working Party 7B – Draft table of contents (ToC) of Handbook on best practices for the sustainable use of frequencies and associated non-GSO orbits by space radiocommunication services	Plenary	—
112	WP 6A	Liaison statement to Working Party 7C (copy to Working Parties 3L, 3M, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7B and 7D) – WRC-27 agenda item 1.17	Plenary	—
113	WP 6A	Liaison statement to Working Party 4A (copy to Working Parties 3M, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7B, 7C and 7D) – WRC-27 agenda item 1.6	Plenary	—
114	WP 5B	Reply liaison statement to Working Party 7B – Relevant technical information for sharing studies under WRC-27 agenda item 1.15	7B-2	65
115	WP 5A	Liaison statement to Working Party 7B – Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.15	7B-2	—
116	Director, BR	Additional information on the preparation of texts for the draft CPM Report to WRC-27	7B-2	—
117	WP 5D	Reply liaison statement to Working Party 7B – Possible coordination between space research service (deep space) stations operating in the band 7 145-7 190 MHz and IMT stations operating in the band 6 425-7 125 MHz	7B-2	60
118	WP 5D	Reply liaison statement to Working Party 7B – WRC-27 agenda item 1.7	7B-1	52
119	WP 3J	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 7B (copy for information to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7A, 7C and 7D) – Response to Working Party 7B answers to questions related to WRC-27 agenda item 1.15	7B-2	—
120	Germany	Proposed modifications to the preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR]	7B-2	—
121(Rev.1)	Japan	Proposed modification to preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[2 GHZ SOS CHAR] – Technical and operational characteristics of the space operation service (SOS) systems that use the 2 025-2 110 MHz (Earth-to-space) (space-to-space) and 2 200-2 290 MHz (space-to-Earth) (space-	7B-1	52

文書番号 7B/…	提出元	題目	担当 WG	出力文書 7B /TEMP/*
		to-space) frequency bands to be used for assessing interference and for conducting sharing studies		
122	Japan	Proposed reply liaison statement to Working Party 5D concerning WRC-27 agenda item 1.7	7B-1	53
123	Russian Federation	Draft reply liaison statement to Working Party 5D – WRC-27 agenda item 1.7	7B-1	53
124	China	Proposed modification to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] – Technical and operational characteristics for space research systems in the vicinity of the Moon	7B-2	52
125	Scientific Committee on Frequency Allocations for Radio Astronomy and Space Science (IUCAF)	Working document towards a preliminary draft new recommendation – Threshold levels of harmful interference to radio astronomy above 275 GHz	7B-2	—
126	Scientific Committee on Frequency Allocations for Radio Astronomy and Space Science (IUCAF)	Working document towards a preliminary draft new recommendation – Thresholds of harmful interference to radio astronomy in the shielded zone of the Moon – (Copy to Working Party 7B for information)	7B-2	—
127	Korea (Rep. of)	Proposed modification to the preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] – Technical and operational characteristics for space research systems in the vicinity of the Moon	7B-2	52
128	Canada	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[2 GHZ SOS CHAR] – Technical and operational characteristics of the space operation service (SOS) systems that use the 2 025-2 110 MHz (Earth-to-space) (space-to-space) and 2 200-2 290 MHz (space-to-Earth) (space-to-space) frequency bands to be used for assessing interference and for conducting sharing studies	7B-1	49 Rev.1
129	Canada	Working document toward a preliminary draft revision of Report ITU-R SA.2488-0 – Characteristics to be used for assessing interference to systems operating in the Earth exploration-satellite and meteorological-satellite services, and for conducting sharing and compatibility studies	7B-3	46
130	Russian Federation	Proposals for working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR 1.15 STUDIES]	7B-2	54
131	Chair, WP 4C and Acting	Preliminary calculations on overlaps between WRC-27 agenda items 1.11, 1.13 and 1.15	7B-2	62

文書番号 7B/…	提出元	題目	担当 WG	出力文書 7B /TEMP/*
	Chair, WP 7B			
132	United States	Preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] – Technical and operational characteristics for space research systems in the vicinity of the Moon	7B-2	52
133	United States	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] – Sharing studies of space research systems for lunar operations under WRC-27 agenda item 1.15	7B-2	54
134	United States	Working document towards preliminary draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.15	7B-2	56
135	United States	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[2.0 GHz SRS & EESS CHAR] – Technical and operational characteristics of the space research service and Earth exploration-satellite service systems in the 2 025-2 120 MHz frequency band to be used for assessing interference and for conducting sharing and compatibility studies	7B-1/3	48
136	United States	Draft revision of Recommendation ITU-R SA.2141 – Characteristics of space research service systems in the frequency range 14.8-15.35 GHz	7B-1	51
137	United States	Draft reply liaison statement to Working Party 4C	7B-1	50
138	India	Proposed modification to preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] – Technical and operational characteristics for space research systems in the vicinity of the Moon	7B-2	52
139	India	Proposed modifications to preliminary draft new recommendation ITU-R SA.[2 GHz SOS CHAR] – Technical and operational characteristics of the space operation service (SOS) systems that use the 2 025-2 110 MHz (Earth-to-space) (space-to-space) and 2 200-2 290 MHz (space-to-Earth) (space-to-space) frequency bands to be used for assessing interference and for conducting sharing studies	7B-1	49 Rev.1
140	France,Germany	Proposed modifications to the working document towards a draft new Report ITU-R SA.[EESS NGS 7-8GHZ] – Evolution of Earth exploration-satellite service systems in the frequency range 7 190 to 8 400 MHz	7B-3	57
141	Germany	Elements for a possible contribution to Working Party 4A – Handbook on Best Practices for the Sustainable use of Frequencies and Associated non-GSO Orbits by Space Radiocommunication Services	Plenary	—
142	Germany	Proposed draft reply liaison statement to Working Party 4A – Consideration on Draft Table of Contents (ToC) of Handbook on Best practices for the sustainable use of frequencies and associated non-GSO orbits by space radiocommunication services	Plenary	—
143	European Space	Draft revision of the Handbook on Space Research Communication (2014)	7B-2	64

文書番号 7B/…	提出元	題目	担当 WG	出力文書 7B /TEMP/*
	Agency (ESA)			
144	European Space Agency (ESA)	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[EESS-UPLINKS-23GHZ] – Potential future EESS (Earth-to-space) in the 22.55-23.15 GHz band	7B-3	45
145	European Space Agency (ESA)	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[EESS-DOWN-LINKS-40GHZ] – Potential future EESS (space-to-Earth) in the frequency range [37.5-52.4 GHz]	7B-3	44
146	European Space Agency (ESA)	Proposed reply liaison statement to Working Party 5D – WRC-27 agenda item 1.7	7B-1	53
147	Brazil	Space sustainability and the protection of scientific services – Brazil's Commitment and International Engagement	Plenary	—
148	BR, Study Groups De- partment	List of documents issued (Documents 7B/94 – 7B/148)	—	—

表 5 出力文書一覧

※議長報告=7B/150

文書番号 7B/TEMP/*	題目	入力文書 7B/...	処理
44	Working document in support of possible ITU-R SA.[EESS-DOWNLINKS-37.5 TO 52.4 GHz] - Potential future EESS (space-to-Earth) in the frequency range [37.5-52.4 GHz]	144	議長報告添付 (Annex 9)
45	Working document in support of possible ITU-R SA.[EESS-UPLINKS-23GHz] - Potential future EESS (Earth-to-space) in the 22.55-23.15 GHz band	145	議長報告添付 (Annex 10)
46	Working document toward a preliminary draft revision of Report ITU-R SA.2488-0 - Characteristics to be used for assessing interference to systems operating in the Earth exploration-satellite and meteorological-satellite services, and for conducting sharing studies	97 Annex 4, 129	議長報告添付 (Annex 6)
47	Liaison statement to Working Party 7C - WRC-27 agenda item 1.19	—	WP7C へ送付
48	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[2.0 GHz SRS & EESS CHAR] - Technical and operational characteristics of the space research service and Earth exploration-satellite service systems in the 2 025-2 120 MHz frequency band to be used for assessing interference and for conducting sharing and compatibility studies	97 Annex 8, 135	議長報告添付 (Annex 5)
49 Rev.1	Draft new Recommendation ITU-R SA.[2 GHz SOS CHAR] - Technical and operational characteristics of the space operation service (SOS) systems that use the 2 025-2 110 MHz (Earth-to-space) (space-to-space) and 2 200-2 290 MHz (space-to-Earth) (space-to-space) frequency bands to be used for assessing interference and for conducting sharing studies	97 Annex 10,	SG7に上程
50	Reply liaison statement to Working Party 4C	137	WP4C へ送付
51	Draft revision of Recommendation ITU-R SA.2141-0 - Characteristics of space research service systems in the frequency range 14.8-15.35 GHz	136	SG7に上程
52	Preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] - Technical and operational characteristics for space research systems in the vicinity of the Moon	97Annex 1 120 124 127 132 138	SG7に上程
53	Reply liaison statement to Working Party 5D - WRC-27 agenda item 1.7	118, 121Rev.1, 122, 146	WP5D へ送付
54	Annex XX to Working Party 7B Chair's Report - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR 1.15	97Annex 2 130 133	議長報告添付 (Annex 1)

文書番号 7B/TEMP/*	題目	入力文書 7B/...	処理
	STUDIES] - Sharing studies of space re- search systems for lunar operations under WRC-27 agenda item 1.15		
55	Note to Chair Working Party 7B - Working Document toward representative character- istics and concepts of operation for Lunar SRS	97Annex 9	議長報告添付 (Annex 4)
56	Annex XX to Working Party 7B Chair's Report - Working document towards preliminary draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.15	134	議長報告添付 (Annex 2)
57	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[EESS NGS 7- 8GHZ] - Evolution of Earth exploration-sat- ellite service systems in the frequency range 7 190 to 8 400 MHz	97 Annex 11, 140	議長報告添付 (Annex 7)
58	Working document toward a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SA.514-3 - Interference criteria for com- mand and data transmission systems operat- ing in the Earth exploration-satellite and me- teorological-satellite services	97 Annex 5	議長報告添付 (Annex 8)
59	Draft reply liaison statement to Working Party 5D regarding WRC-27 agenda item 1.15 - Sharing studies between IMT and SRS (space-to-space) in the frequency band 7 190-7 235 MHz, overlapping between WRC- 27 agenda items 1.7 and 1.15	105	WP5D へ送付
60	Reply liaison statement to Working Party 5D - Possible coordination between space re- search service (deep space) stations operat- ing in the band 7 145-7 190 MHz and IMT stations operating in the band 6 425-7 125 MHz	117	WP5D へ送付
61	Revised workplan for WRC-27 agenda item 1.15 and Resolution 680 (WRC-23)	97Annex 3	議長報告添付 (Annex 3)
62	Draft reply liaison statement to ITU-R Work- ing Party 4C regarding preliminary calcula- tions on overlaps between WRC-27 agenda items 1.11/1.13 and 1.15 - WRC-27 agenda items 1.11, 1.13 and 1.15 sharing studies	131	WP4C へ送付
63	Draft liaison statement to ITU-R Working Parties 1B, 3J, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7A, 7C and 7D - Report on progress of activities relating to WRC-27 agenda item 1.15	なし	WP1B へ送付 WP3J へ送付 WP4A へ送付 WP4C へ送付 WP5A へ送付 WP5B へ送付 WP5C へ送付 WP5D へ送付 WP7A へ送付 WP7C へ送付 WP7D へ送付
64	Draft revision of the Handbook on space re- search communication (2014)	97Annex 12 143	議長報告添付 (Annex 11)
65	Draft reply liaison statement to Working Party 5B regarding WRC-27 agenda item	114	WP5B へ送付

文書番号 7B/TEMP/*	題目	入力文書 7B/...	処理
	1.15 - Compatibility studies between SRS (space-to-space), operating in the frequency band 8 450-8 500 MHz and radiodetermination service, operating in the frequency band 8 500-10 680 MHz		